

開催日 2021年11月25日（木）

第9回となる「オリンピック・パラリンピック教育推進プログラム」を、2021年11月25日(木)に江東区立 深川第四中学校にて、中学2年生149名を対象に開催いたしました。

当日は3時限を使用し、義肢装具士による「障がいの理解と義肢装具士の仕事」の講義&義足ユーザーによる日常動作パフォーマンス、3つのブースに分かれて「採型デモンストレーション」・「模擬義足体験」・「義肢装具展示品閲覧」を15分毎に回る体験、義足ユーザーによる講演&立位テニスのパフォーマンスを行いました。

今回のプログラムは、講師にゲイトアシスト合同会社 代表の富永 修一氏(PO)を、義足ユーザーに日本障がい者立位テニス選手の岸 俊介氏をお招きし、(公社)日本義肢装具士協会 障がい者/パラアスリート/PO啓発WGと、東日本支部から運営スタッフ4名が対応しました。それぞれのプログラムについて解説いたします。

なお、開催時期は新型コロナウイルス感染拡大中に伴い、学校から指示される感染予防対策の方法を厳守し、当協会においても関係者の「健康チェックシートの記録」・「検温」・「手指の消毒」・「マスク、フェイスシールドの装着」や、生徒と距離を保つなど感染予防対策を徹底いたしました。

### 講義 ～障がいの理解と義肢装具士の仕事～

富永氏により「障がいの理解と義肢装具士の仕事」について、講義を行いました。

前半では、「障がいについての概要」「義肢装具の説明や義肢装具士の仕事」に関して多くの写真を用いて細かく説明してもらいました。

後半はご自身の業務や研究内容とも重ねて、生徒が興味を持って聴講できるよう身近な題材を用いた映像を使用して、「どちら側の足が義足なのか？」や、「パラ義足ランナーとウサイン・ボルト選手の100m走の比較」について簡単な数値で示しながら加速期の速度や、歩幅・ケイデンスなどを分かり易く解説されていました。



< 講演の様子 >

## 義足ユーザーによる日常動作のパフォーマンス

大腿義足ユーザーの岸 俊介氏による「日常動作パフォーマンス」を行いました。講師が司会として説明を加えながら、ステージ上で実施しました。

断端を見せない状況での義足装着、椅座位での靴の脱着、通常歩行から小走りまで、階段昇降、その他諸々の動作を行っていただきました。岸氏も非常に慣れた様子で動作を行っており、ユーザーが実演する事で理解の向上に繋げる事が出来ました。



< 日常動作パフォーマンス >

## 足の採型デモンストレーション



< 下肢採型の様子 >

生徒からモデルを選出してもらい、壇上にて義肢装具士が下肢の採型を行いました。

作業の手元をビデオカメラでスクリーンに映し出し、マイクで解説を入れてフロアにいる生徒達が理解し易くなる工夫をしました。

モデルの生徒は、徐々に石膏が固まってくるのが不思議な様子で、興味津々でした。終了後には記念に陰性モデルをプレゼントしました。

モデルとなる生徒に感染やケガを負わせないよう、細心の注意を払い行いました。

## 模擬義足体験



< 模擬義足体験の様子 >

生徒から装着者を選出してもらい、体育館フロアで義肢装具士が装着を行いました。生徒にケガを負わせないよう、体験する生徒の両脇を必ず学校の先生が支える状況で実施しました。

また、岸氏が義足操作について生徒にアドバイスをしていた為、模擬義足体験を単体で行うより理解を深められたと考えます。

見学の生徒が飽きないように、体験の傍らで岸氏に義足走行のパフォーマンスも披露してもらいました。義足で走行する状況に、生徒達は驚いている様子でした。

## 義肢装具展示



< 義肢装具展示の様子 >

体育館フロアに3つのテーブルを設置し、義肢装具を展示しました。各テーブルにはスタッフが付き、生徒からの質問に答えられるようにしました。

新型コロナウイルスの感染防止の為、装具は生徒に装着させないようにし、触れた製品はその都度消毒をするようにしました。

生徒は装飾義手への興味が強く、よく手に取って観察していました。

大腿義足は膝が曲がる事で指を挟む危険が有る為、スタッフも細心の注意で気を付けていましたが、無事に終了できました。

## 義足ユーザーによる講演 & 立位テニスパフォーマンス

岸氏による講演と、立位テニスのパフォーマンスを行いました。講演内容は「自己紹介」・「障がいのある人の心理」・「ダイバーシティとは」・「立位障がい者テニス」に関して行われました。昨今、様々なシーンで語られているダイバーシティ(多様性)について、義足ユーザーの視点で講演され、生徒達の感想でも初めて障がいと向き合ったとのコメントが多かったのが印象的でした。

立位テニスのパフォーマンスでは、代表生徒とラリーを行い、岸氏のパフォーマンスの高さに、生徒や教員の方々も驚いてました。



< 立位テニスの様子 >

## イベントを終えて...

今回のオリパラ教育推進プログラムは、久々に体験型も取り入れたものとなりました。新型コロナウイルスの影響で、対面式のイベントが中止や制限下での開催となる中、協会スタッフ4名と講師1名、義足ユーザー1名という人数でこの規模のイベントが実施できた事は、学校職員の方々のご協力があったからだと思います。

また、過去数年行っていなかった模擬義足体験も、職員の方々に生徒の両脇を補助で支える事を条件で、安全を担保した状況で実施いたしました。やはり、見聞きする事も大切ですが、実際に触ったり装着する事でより興味を持ち、イメージが掴み易く理解が深まると思います。身近な生徒が被験者になって体験する場面では、クラスのメンバーが応援する声が聞こえ、生徒たちの関心度も大いに高まったように感じました。

## アンケート(生徒の記述感想)

- ・障がい者に対等に接する大切さが分かった。
- ・義足や義手のおかげで普段の生活が出来る事はすごいと思いました。
- ・実際のユーザー目線から見た事や、「こういう風に接してほしい」という事が分かって面白かった。
- ・今回お話を聞いて、障がいについてすごく身近に感じる事ができました。前までは知らなかった障がい者さん達の気持ちや義肢装具士について新しく色々な事を知れました。本当にありがとうございました。
- ・障がいがある方でも普通に接する事を心掛ける。とても楽しかった。
- ・今回義肢装具士による講義でとても興味を持ちました。また来てほしいです。
- ・日本とアメリカの義足に対しての考えの違いにびっくりしました。
- ・障がい者に関する事について学習したことはあったけど、その人を支える職業について義肢装具士という職業のことを学んで、義肢の事について理解が深まってとても良い経験になった。実際の採型を見たり、義肢を触ったりするのもとても楽しかったです。
- ・岸さんのスピーチがとても心に残っています。
- ・共に手を取り合い、助け合える関係を築いていきたい。
- ・岸さんは素晴らしかった(56歳に憧れる、楽しそう)。
- ・ポジティブさが大切。
- ・話が分かりやすく興味をもった。
- ・テニスの応援にいきたいです。
- ・わざわざ来て頂いてありがとうございます。
- ・会った時に「大丈夫ですか？」と声を掛けるより、「そうなんだ」と普通にしていた方が障がい者は嬉しいというのは初めて知った。貴重な話をありがとうございました！
- ・出来る事を見つける姿に感動しました。
- ・あまり知らない仕事でしたが、講義を聞いて興味をもちました。面白いスポーツだと思ったので、テニスをもっと広まってほしいです。ありがとうございました。
- ・義肢装具士という仕事をあまり知らなかったが、今回仕事内容を実際に見ることが出来て、話を聞くだけよりも分かりやすかった。
- ・義肢装具士にとっても興味を持てた。また、障害にもたくさんの種類があることを知れたので、色々調べてみたい。
- ・義足をされている方でも、あそこまで自然に歩けるのがすごいなと思った。また、障がいの方への思いやりも大事だけど、普通に接することも大切だなと思えた。

## アンケート(生徒の記述感想)

- ・義肢装具士の仕事や義肢に触れることは滅多にない貴重な機会だったと思います。義肢を使っているなど、障がいのある人への接し方もできました。
- ・最初は義足が折れないか心配したが、体験で全体重かけても折れなかったので凄いと思いました。
- ・詳しい事は分からなかったのですが、この時間が有ってありがたかったです。
- ・今まで以上に身近に感じる事が出来ました。ありがとうございました。
- ・日々の生活について改めようと思う。
- ・障がいについてまた一つ詳しくなることができ良かったです。
- ・普段体験できないことやものを知れて良かったです。義手、義足を触れる機会はこれからはないと思うので、良い経験になりました。
- ・実際に足を失った人から、その時の気持ちの持ち方を教えてもらい、自分がもしそうになったらポジティブに行こうと考えられた。
- ・岸さんの考え方を変えるという素敵な話を聞いて良かったです。
- ・義肢を使用されている方を街中で見かけることが多々あります。いつもは「見てはいけない」という気持ちがありましたが、岸さんのお話を聞いて社会の目が「普通」に捉えてくれるようになってほしいと思いました。
- ・今日はありがとうございました。  
義肢の採型が、思っていたより早く終わってしまうのに驚きました。
- ・義足は高い！
- ・障がい者の気持ちを考えたことがなかったので、素直な気持ちが聞いて良かった。
- ・普段関わっていなかった職業の方のお話を聞くことができたので、面白かったです。
- ・もっと沢山の義肢装具を見てみたいなと思いました。